



全員の進路実現に向かって

高校生活最後の夏季休業はいかがでしたか。学習計画に沿って、規則正しく勉強を進められたでしょうか。順調であった人、うまく学習ができなかったと悔やんでいる人、いろいろな人がいると思います。ただ、全員に共通することは、「**努力した分だけ必ず目標に近づく**」ことです。夏休みを終え、受験のプレッシャーも大きくなるこれから、もっともきつい時期が来ます。少しずつでもいいので、前進を続けてください。

模試を通じて、本番までの対策を具体化しよう！

<今後の模試日程と、模試に臨む姿勢>

① 10月10日(火) 第2回 ベネッセ・駿台記述模試 【全員受験】

自分自身の夏以降の学習成果を確認するための模試です。すべての範囲を終え、問題演習に入っている教科、特に英語や数学で、目標にどれだけ近づいているかを確認！ 不足を感じた分野や、理解が不十分な単元があったら、短期集中で克服しましょう。

② 10月15日(日) 第3回 全統記述模試(河合塾) <公開会場・各自で申込>

これまでの学習の集大成。**受験前最後の記述模試**。これ以降、入試の共通テストと個別試験の配点割合から逆算したスケジュールをもとに、過去問対策や共通テスト対策に切り替え。

③ 10月22日(日) 第3回 全統共通テスト模試(河合塾) <公開会場・各自で申込>

共通テスト本番の、予行演習のつもりで。時間配分、スピード(読解力、計算力、思考力…)の確認。「自分が本番でどのくらい取れそうか」のラインを意識して取り組む。

④ 10月31日(火)、11月1日(水) 第3回 ベネッセ・駿台大学入学共通テスト模試 【全員受験】

校内で全員受験する最後の模試。ここからもまだまだ伸びる。基礎・基本問題がきちんと取り切れるか確認。

⑤ 11月19日(日) 全統プレ共通テスト(河合塾) <公開会場・各自で申込>

年内に結果が返却される最後の模試。

これ以外にも、11月の大学別入試実践模試(駿台)、駿台 atama+プレ共通テスト(駿台、12/10(日))などがあります。模試は、良間に取り組む機会であるとともに、教科の得点力や全国の受験生の中での相対位置を知ることができます。結果に一喜一憂するのではなく、学習の指針やモチベーションに、模試を活用してください。

◇模試ごとに、科目ごとの目標を定めて臨む

例) ・基礎事項の定着確認 ・標準、発展的な問題への取り組み

- ・自己採点結果と実際の得点の差を減らす(本番で9点誤差があると、900点満点の1%の差になる)
- ・時間配分を意識した取り組み(受験科目と大問構成の確認、出題分野の確認はどの教科でも必ず!)

○模試を「単なる問題演習」で終わらせないために

「週末は模試だったなあ。とりあえず当日行けばなんとかなるか」は NG。受験科目の順番、時間配分、記述かマークか、試験場所は学校なのか公開会場なのか。毎回の確認は大変ですが、受験期を想定し、ひとつひとつの模試を大切に。

また、すべての模試で解答解説が配布されるはずですが、自己採点と復習は欠かさずに。自分のできなかった問題と向き合うことはつらい時間と感じる人もいるかもしれませんが、**できなかったができるに変わるとき、人は成長します**。点の取れていない分野が複数の模試で共通項になっているのなら、気付いたその日から克服の手段を講じましょう。